

『大阪・関西万博』での納材事例を紹介します



万博でお出迎えの西ゲート側の「ミヤクミヨク」くん

『大阪・関西万博』が4月13日～10月13日まで開催され、大いに盛り上がりましたが、弊社は4つのパビリオンに「丸材」を納入する機会に恵まれました。

「万博リング」が大きな話題になりましたが、弊社が関わった「小さな納材事例」4件を紹介させて戴きます。



2025
4.20

「サテライトスタジオ東の「困った木」に採用されました

万博取材のテレビ局の情報発信の拠点となる「サテライトスタジオ・東」用の「困った木」の企画に弊社の「商品になれなかった木（丸棒材）」が採用になり、加えて、支障木等の採用材を串刺しにするパイプ柱の穴あけ加工を担当させて頂きました。

採用材として、グラップル傷があつて出荷できなかった30cm丸棒丸太やろくろで早回しして波打った丸太を提供、「商品になれなかった木」が大出世しました。



「サテライトスタジオ・東」の「困った木」の串だし丸太等



2025
5.20

自社搬入したモザンビーク共和国館のマスト用丸棒材



船のマストとして採用の「丸棒丸太」

注文を受けた直径17cm・長さ4mの松の丸棒丸太1本を2トラックで搬入しました。（受注は3月5日で、納期厳守でした）

会場全体がまだまだ工事中といった状況で、心配な状態でしたが、無事開会を迎えたことは現場力の強さを感じました。

展示館中央に据えられた

2025
8.20

『大阪・関西万博見学、従業員研修』を行いました

行ってきました。

万博リングの上を初めて歩いて、大きさにびっくりするとともに、シンガポール館の白く塗装された丸太スツールの前で記念撮影をしました。



「万博リング」の上をみんなで散策

8月5日、『大阪関西万博見学、従業員研修』ということで、弊社の木材が納入されている現場の見学に

『商品になれなかった木』が採用されたサテライトスタジオ東では、行方不明になっていた「だんご三兄弟」の次男も発見しました。

柱の一番上



2025
5.10

シンガポール館の「直径60cmの丸太スツール」



発見した「丸太スツール」の前で記念撮影

行き先が不明だった「直径60cm×高さ60cmの丸柱丸太（丸棒丸太）」をシンガポール館前で発見しました。

赤の球体の主テーマ展示場の建物の出口付近に置かれており、「シンガポール（館名表示板）」の前に座って写真が撮れる「丸太スツール」として使われていました。

周りの円柱植木鉢ともマッチするように、白色にペイ



ント塗装されていました。このスツール前で、多くの来場者が記念撮影している光景を見て、「役立っ直径60cm」を実感しました。（大口径の円柱材が作れる喜びを噛みしめました）

2025
5.15

『関西パビリオン』の兵庫県代表のベンチ材

「関西パビリオン」前の広場に、関西広域連合参加の9府県産の木材で作った「丸太ベンチ」が設置されており、兵庫県産木材分を弊社で担当させて頂きました。



関西広域連合・各府県のベンチが勢揃い



の休養用に使われています。

弊社が得意とする「丸棒加工品」が、「府県代表」として使われたことを光榮に思いました。

2025
10.13

「大阪・関西万博」で使われた木にお別れに行って来ました



閉幕日に登場したドローンによる「さよならミヤクミヨク」

後半に盛り上がった「大阪・関西万博」が10月13日で閉幕を迎えました。「2ケタ・万博入場」を目指していた「円柱材マイスター」は、閉幕日にも入場



し、「納材した木材」にお別れをしてきました。（10回目、開幕日も当然入場）シンガポール館出口に設置された「丸太スツール」で、案内スタッフとの記念撮影も行い、放送局のサテライトスタジオ東の「困った木」とも最後の記念撮影を行いました。



2025
10.20

『関西パビリオン』で使用する兵庫県産材丸太ベンチを引取り

万博が閉幕し、各府県の「丸太ベンチ」を各々引き取ることにになり、兵庫県分を引取りに万博会場に行つて来ました。



引取時にベンチとともに記念撮影

引取りの際には、丸太ベンチを軽トラに載せて、会場内の名所めぐりをする機会に恵まれ、「万博の名残り」を存分に感じる事ができました。

引き取った「丸太ベンチ」は、県内で開催される「木材系イベント」で披露する予定で、今後、皆様の目に止まることを楽しみにしています。

